



<インドネシア・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2021年8月13日

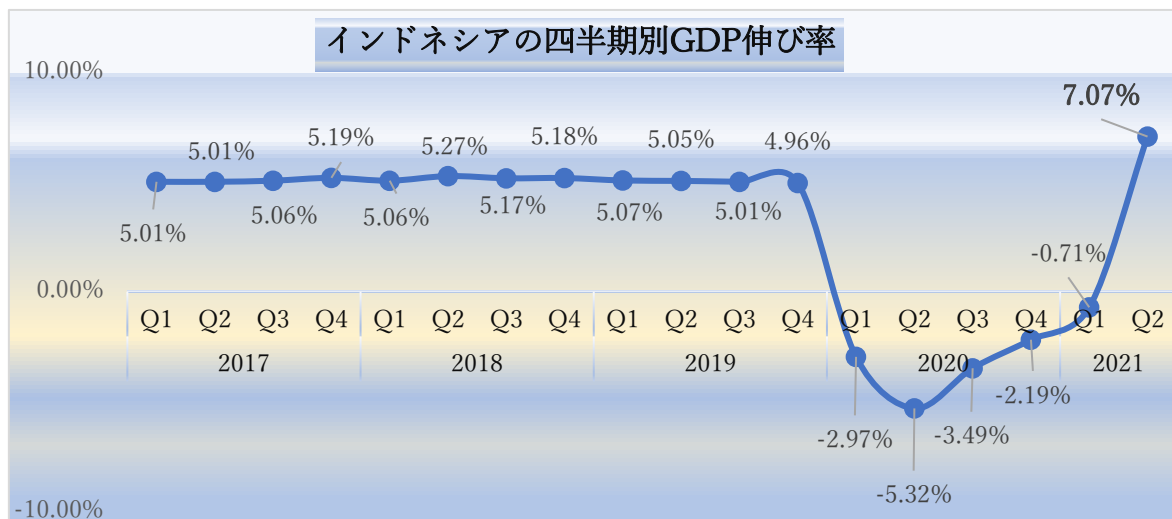
インドネシア 2021年第2四半期 GDP成長率

5四半期ぶりにプラス成長となった

インドネシア中央統計局が発表した2021年第2四半期(4-6月)の実質GDP成長率は前年同期比7.07%増だった。新型コロナウイルスの影響で2020年第1四半期(1~3月)以降マイナス成長が続いてきたが、5四半期ぶりにプラス成長となった。7.16%の成長を記録した2004年の第4四半期以来2番目に高い伸び率となった。

第2四半期の高成長は主に輸出、家計消費、投資、政府消費の増加によって押し上げられた。具体的には、同国の貿易相手国での需要の高まりを背景に、輸出は前年同期比31.78%と急増、家計最終消費は第1四半期の同2.22%マイナス成長から第2四半期には20年第2四半期以降初めて同5.93%のプラスに転換した。投資部門も非建設投資の強化に支えられて、同7.54%増となり、投資拡大時期に入っているもようである。最後に、政府消費は同8.06%拡大した。

中銀は7月、通年のGDP成長率予測をそれまでの4.1~5.1%から3.5~4.3%下方修正。



<http://www.capital-am.co.jp>

出所:インドネシア中央統計局、中銀

以上